

## 専任教員教育研究業績

平成 29年 5月 16日

|        |         |                |                      |             |
|--------|---------|----------------|----------------------|-------------|
| 氏名     | ふりがな    | 所属             | 職 位                  | 性別          |
| 吉野 さやか | よしの さやか | 保育学科<br>通信教育課程 | 教授・准教授・講師・ <b>助教</b> | 男・ <b>女</b> |

## 担 当 科 目 名

保育の心理学Ⅰ・Ⅱ、幼児教育の理解と方法、環境指導法

## 学 歴

| 和暦(西暦)年 月          | 事 項  | 学位       |
|--------------------|--|----------|
| 平成 15 (2003) 年 4 月 | 東京女子大学 文理学部 心理学科 入学                                      |          |
| 平成 19 (2007) 年 3 月 | 東京女子大学 文理学部 心理学科 卒業                                      | 学士(文学)   |
| 平成 19 (2007) 年 4 月 | お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 博士前期課程<br>人間発達科学専攻 心理学コース 入学     |          |
| 平成 21 (2009) 年 3 月 | お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 博士前期課程<br>人間発達科学専攻 心理学コース 修了     | 修士(人文科学) |
| 平成 21 (2009) 年 4 月 | お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 博士後期課程<br>人間発達科学専攻 心理学領域 入学      |          |
| 平成 27 (2015) 年 3 月 | お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 博士後期課程<br>人間発達科学専攻 心理学領域 単位取得後退学 |          |

## 教 育 歴 ・ 職 歴

| 名 称                       | 期 間                      | 教育内容又は業務内容  |
|---------------------------|--------------------------|---|
| お茶の水女子大学グローバルCOEプログラム     | 平成 22 年 5 月～平成 24 年 3 月  | 公募研究員   |
| 上尾中央医療専門学校<br>作業療法科、理学療法科 | 平成 23 年 4 月～平成 26 年 3 月  | 非常勤講師(「基礎心理学」「人間発達学」担当)   |
| 西東京市役所 保谷庁舎<br>健康保健課      | 平成 23 年 4 月～平成 26 年 3 月  | 母子支援事業 心理相談員  |
| 東京家政学院大学 現代<br>生活学部児童学科   | 平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月  | 非常勤講師(「発達心理学」担当)  |
| 明星大学 通信教育部                | 平成 24 年 4 月～現在           | 非常勤講師(「臨床心理学」「児童心理学」「初等教育相談の基礎と方法」担当 ※「臨床心理学」のみ平成 26 年 3 月まで)                             |
| 国立看護大学校 看護学<br>部          | 平成 24 年 10 月～平成 26 年 3 月 | 非常勤講師(「心理学」「発達心理学」担当)   |
| 奈良保育学院                    | 平成 26 年 4 月～平成 29 年 3 月  | 常勤講師(「教育心理学」「保育の心理学Ⅰ」「保育の心理学Ⅱ<br>幼児理解」「カウンセリング概論」「人間関係(保育内容)」「障がい児保育」「保育・教職実践演習」「課題研究」担当) |
| 小田原短期大学 保育学<br>科通信教育課程    | 平成 29 年 4 月～現在           | 特任助教(「教育原理」「教育制度論」「保育の心理学Ⅰ・Ⅱ」<br>「幼児教育の理解と方法」「環境指導法」担当)                                   |

## 所 属 学 会 等

| 名 称       | 活動期間           | 活動内容(役職等の活動を含む) |
|-----------|----------------|-----------------|
| 日本心理学会    | 平成 21 年 4 月～現在 | 会員              |
| 日本教育心理学会  | 平成 21 年 4 月～現在 | 会員              |
| 日本発達心理学会  | 平成 21 年 8 月～現在 | 会員              |
| 日本認知心理学会  | 平成 23 年 2 月～現在 | 会員              |
| 日本こども環境学会 | 平成 23 年 4 月～現在 | 会員              |

## 社 会 活 動 等

| 名 称             | 活動期間                    | 活 動 内 容                               |
|-----------------|-------------------------|---------------------------------------|
| 日本子どもソーシャルワーク協会 | 平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月 | ファミリー&チャイルドサポートぼらん ケア・ワーカー(養育困難家庭支援員) |
| 日本子ども学会         | 平成 21 年 9 月             | 日本子ども学会第 6 回大会運営ボランティア                |

|                       |                                 |                        |
|-----------------------|---------------------------------|------------------------|
| お茶の水女子大学グローバルCOEプログラム | 平成22年5月～平成24年3月                 | 公募研究成果論文集編集委員          |
| 日本認知心理学会              | 平成25年6月                         | 日本認知心理学会第11回大会運営ボランティア |
| 奈良保育学院                | 平成26年4月～平成27年3月、平成28年4月～平成29年3月 | 奈良保育学院研究紀要編集委員         |
| 奈良保育学院                | 平成26年12月～平成29年3月                | 奈良保育学院教育課程編成委員会委員      |
| 白藤学園奈良女子高等学校文化みらいコース  | 平成26年10月                        | 土曜講座「心理学講座」講師          |
| 白藤学園奈良女子高等学校          | 平成28年7月                         | 人権教育夏季教員研修会「特別支援教育」講師  |
| 奈良県専修学校各種学校連合会        | 平成28年4月～平成29年3月                 | 専門学校部会広報委員             |
| 一般社団法人 東京女子大学同窓会      | 平成29年4月～現在                      | 東京女子大学同窓会代議員           |

担当教科目に関する資格・免許等

| 名称    | 取得年月     | 取得機関       |
|-------|----------|------------|
| 保育士資格 | 平成25年11月 | 全国保育士養成協議会 |

研究実績に関する事項

| 代表的な著書、論文等の名称                     | 単著共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称          | 概要  |
|-----------------------------------|--------|-----------|-----------------------------|---|
| (著書)<br>1. これだけ覚える！保育士重要項目〈12年度版〉 | 共著     | 平成24年2月   | 成美堂出版                       | 「第3章 発達心理学」「第4章 精神保健」担当。保育士試験筆記科目の内、発達心理学および精神保健の各科目において、過去の試験で頻出している領域、理論、用語などの解説、重要と思われる事項についてまとめた。(担当頁：pp.73-124)<br>監修：諏訪きぬ<br>編著：コンデックス情報研究所 医療福祉系資格試験対策室  |
| 2. これだけ覚える！保育士重要項目〈13年度版〉         | 共著     | 平成25年1月   | 成美堂出版                       | 「第6章 保育の心理学」担当。平成25年度に改正された保育士試験科目に合わせ、これまでの発達心理学科目および精神保健科目の内容を踏まえた上で、新科目としての保育の心理学の試験対策として重要と考えられる領域、理論、用語などの解説、事項についてまとめた。(担当頁：pp.143-184)<br>監修：諏訪きぬ<br>編著：コンデックス情報研究所 医療福祉系資格試験対策室   |
| 3. 保育士試験一問一答問題集                   | 共著     | 平成25年4月   | 成美堂出版                       | 「第6章 保育の心理学」担当。平成25年度に改正された保育士試験科目に合わせて作成。保育に関する重要事項、発達理論、認知、社会性、生涯発達の各領域について、重要事項を一問一答形式で学習できるようにし、解説を付した。(担当頁：pp.167-198)<br>監修：諏訪きぬ<br>編著：コンデックス情報研究所 医療福祉系資格試験対策室   |
| 4. 保育士試験完全予想問題集                   | 共著     | 平成25年4月   | 成美堂出版                       | 「完全予想模試 第1回・第2回」の内、「保育の心理学」を、「解答・解説」の内、「保育の心理学」を担当。平成25年度に改正された保育士試験科目に合わせ、2回分の予想模試を作成した。平成17年度から24年度までの発達心理学および精神保健科目の試験を分析し、新試験に対応させて各20問、計40問を作成し、それぞれに解答・解説を付した。(本人担当頁：完全予想模試 第1回 保育の心理学(頁数記載なし)、完全予想模試 第2回 保育の心理学(頁数記載なし)、解答・解説 Pp.27-32, 73-78)<br>監修：諏訪きぬ<br>編著：コンデックス情報研究所 医療福祉系資格試験対策室 |
| (学術論文)<br>1. 幼児の記憶に及ぼす有意義化の効果     | 共著     | 平成25年5月   | 認知心理学研究, 第10巻2号, pp.121-132 | 記録時に事象を有意義化することで幼児の想起は促進されるのかについて、4歳児と5歳児を対象として検討した。項目  |

|   |                               |   |  |   |
|---|-------------------------------|---|--|---|
| <p>果 (査読付き)</p> <p>2. 児童期の仲間関係の発達の变化—「友だち」作文の分析を通して—</p> <p>3. 保育学生におけるコラージュ作品の形式分析及び作品印象に関する基礎研究</p> <p>4. コラージュ作品と性格特性の関係：表現特徴とエゴグラムパターンの検討</p>                           | <p>単著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> | <p>平成 26 年 12 月</p> <p>平成 26 年 12 月</p> <p>平成 26 年 12 月</p> | <p>奈良保育学院研究紀要 第 16 号, pp.91-102</p> <p>奈良保育学院研究紀要 第 16 号, pp.103-111</p> <p>人間教育学研究, 第 2 号, pp.157-162</p>                                       | <p>が整合的に配置された絵とばらばらに配置された絵, および絵を描写した物語を刺激として用いたところ, 第一に, 幼児の日常場面を描いた絵は幼児の知識構造に働きかけ想起を促進させること, 第二に, 項目がばらばらに配置された絵を提示した場合, 絵を関連づける物語を提示することで, 事象の有意義化が促され, 想起が促進されることが示された。<br/>共著者：吉野さやか・内田伸子</p> <p>児童期において大きな意味を持つ仲間関係の発達の变化について, 小学校 2・4・6 年生を対象として, 自由かつ自発的に自分の考えを書くことのできる作文の分析を通して考察した。「友だち」というテーマで自由に作文を書かせ, カテゴリー分類の上, 分析した結果, 学年が上がるにつれて物理的に時間や場所を共有する関係性から, 個性を重視した関係性, さらに関わりを通して得るものに目を向けた関係性へと変化していくことが示唆された。</p> <p>コラージュ作品の表現特徴及び作品印象について定量的に捉えるため, 所要時間・満足度評定・切片数・余白の割合及び重ね貼り・はみ出し・裏貼り・文字切抜・文字書込・デザインの有無に関する形式分析を実施し, 作品印象についてはテキストマイニングを用いて検討した。専門学校生 367 名を対象に検討した結果, コラージュ療法における表現特徴は心理臨床のアセスメントに有益な指標をもたらすであろうことが示唆された。<br/>共著者：岡村季光・吉野さやか</p> <p>性格特性とコラージュ作品の関連を検討するため, 専門学校生を対象としてエゴグラム及びコラージュ作品制作を実施した。その結果, エゴグラムパターンにより, 第一に, 切片数が多い者は心的エネルギーが高い性格特徴を持つ可能性, 第二に, 余白が多い者は心的エネルギーが低い性格特徴を持つ可能性, 第三に, 作品の満足度が低い者は自己否定の構えを持つ可能性がそれぞれ示唆された。<br/>共著者：岡村季光・吉野さやか</p> |
| <p>(報告書)</p> <p>1. 子どもの想起の発達—幼児における記憶方略の使用と効果—</p> <p>2. 子どもの想起の発達—物語の産出および教示効果—</p> <p>3. グローバル社会における平和構築のための大学間ネットワークの創成—女性の役割を見据えた地の国際連携—平成 24 年度事業実施報告書 ベトナム国際調査報告書</p> | <p>単著</p> <p>単著</p> <p>共著</p> | <p>平成 23 年 7 月</p> <p>平成 24 年 3 月</p> <p>平成 25 年 2 月</p>    | <p>お茶の水女子大学グローバル COE プログラム公募研究成果論文集, 第 16 巻, pp.81-88</p> <p>お茶の水女子大学グローバル COE プログラム公募研究成果論文集, 第 20 巻, pp.113-119</p> <p>お茶の水女子大学グローバル協力センター</p> | <p>物語は事象の有意義化を促し幼児の想起を促進させるのかについて, 4・5 歳児を対象として検討した結果, 第一に, 5 歳児は事象全体を意味づけて物語を産出できること, 第二に, 4 歳児は項目名のラベリングにとどまること, 第三に, 物語を作話するように教示することで 4 歳児の想起成績は 5 歳児と同等まで向上することが示された。従って, 事象の意味を見出そうと能動的に働きかけることが想起の促進には有効に働くことが示唆された。</p> <p>物語は事象の有意義化を促し幼児の想起を促進させるのかについて, 4・5 歳児を対象として検討した結果, 第一に, 5 歳児は事象全体を意味づけて物語を産出できること, 第二に, 4 歳児は項目名のラベリングにとどまること, 第三に, 物語を作話するように教示することで 4 歳児の想起成績は 5 歳児と同等まで向上することが示された。従って, 事象の意味を見出そうと能動的に働きかけることが想起の促進には有効に働くことが示唆された。</p> <p>グローバル社会における平和構築のための大学間ネットワークの創成事業の一環として, ベトナム調査研究を実施した。共著者：お茶の水女子大学グローバル協力センター研究員 吉野担当部分：「ベトナムおよび日本の教育・福祉のあり方とその支援に関して」(pp.17-21)を単著。<br/>ベトナムの保育園および孤児院でインタビュー調査を実施した。その結果, 第一に, 教師主導型教育の強い影響力と自由教育に対する教師の戸惑い, 第二に, 教員養成や障害児教育に対する早急な対応が推察された。子どもを取り巻く環境, 環境構成及び支援の在り方, また, 国の体制や水準, 地域の現状に即した支援の必要性について考察した。</p>   |

|   |    |              |  |  |
|---|----|--------------|--|--|
| (学会発表)<br>1. 子どもの想起の発達—記録時の有意義化が想起に及ぼす影響— (ポスター発表)  | 共同 | 平成 22 年 3 月  | 日本発達心理学会第 21 回大会, 神戸                             | 幼児における自発的な記憶方略の使用について検討した。その結果, 幼児にとって理解可能な文脈 (馴染みのある場面と物語) は幼児の想起成績を向上させること, 及び 5 歳後半頃から自発的に記憶方略を用いて想起できることが示された。<br>共同研究者: 吉野さやか・内田伸子  |
| 2. 子どもの想起の発達—物語化は 4 歳児の想起を促進させるのか— (口頭発表)   | 単独 | 平成 22 年 8 月  | 日本教育心理学会第 52 回総会, 東京                             | 項目がばらばらに配置された場面の物語化は 4 歳児の想起を促進させるのかどうかを検討した。その結果, ばらばらに配置された場面を 4 歳児が自発的に体制化することは困難ではあるが, 物語化して提示することや場面全体に着目させる指示によって, 想起成績は向上することが示された。                                       |
| 3. 子どもの想起の発達—4 歳児は事象の意味づけが可能か— (ポスター発表)   | 単独 | 平成 23 年 3 月  | 日本発達心理学会第 22 回大会, 東京                             | 4 歳児の自発的な事象の意味づけに焦点を当てて検討した。その結果, 第一に, 能動的に意味づけようとすることで 4 歳児の想起成績は向上すること, 第二に, 事象の意味を端的に捉えられる項目間に関連のある絵を用いれば, 4 歳児でも事象の意味づけは可能であることが示唆された。                                       |
| 4. 子どもの想起の発達—直後から 1 週間後における想起の変容— (口頭発表)  | 単独 | 平成 23 年 7 月  | 日本教育心理学会第 53 回総会, 北海道                            | 幼児に意味情報を提示または自発的に意味処理させることで意味情報は保持されるのかどうかを検討した。その結果, 時間の経過とともに想起成績は下降するものの, 記録時に能動的に意味処理することによって 4 歳児の想起成績は 5 歳児と同等レベルに保持されることが示された。  |
| 5. 幼児の記憶の発達—記録時の有意義化が遅延後の想起に与える影響— (ポスター発表)   | 単独 | 平成 24 年 3 月  | 日本発達心理学会第 23 回大会, 名古屋                            | 記録時に有意義化された情報が時間を経た後の想起にどのような影響を与えるのかについて検討した。その結果, 5 歳児は自発的に有意義化することで, 4 歳児は有意義化しようと能動的に事象に働きかけることで, 直後・1 週間後ともに想起が促進されることが示された。  |
| 6. 子どもは目撃したシーンをどのように想起するか—シーンの記憶と理解に及ぼす物語の効果— (ポスター発表)  | 単独 | 平成 24 年 11 月 | 日本教育心理学会第 54 回大会, 沖縄, 11 月                       | 目撃場面における想起について, 幼児はどのように目撃場面を理解し, 意味づけて想起するのかを検討した。その結果, 第一に, 5 歳児は項目がばらばらに配置された (体制化されていない) 場面を自発的に意味づけて想起するが, 4 歳児はばらばらのまま想起すること, 第二に, 指示により意味理解を促すことで 4 歳児はより正確に想起できることが示された。 |
| 7. ベトナムおよび日本の教育とその支援に関する一考察 (ポスター発表)  | 単独 | 平成 25 年 4 月  | こども環境学会 2013 年 東京大会, 東京                          | ベトナムにおける保育園及び孤児院の現状を把握し, 1) 教育格差を生み出す要因, 2) 質の良い教育, 3) 環境改善に必要な支援の 3 点について検討した。その結果, 保育・教育に対する正しい知識の習得, 教員養成の必要性, 国の体制や水準, 地域の現状によって必要な支援は異なることが示唆された。                           |
| 8. 目撃直後の意味づけが遅延後の想起に及ぼす影響 (ポスター発表)  | 単独 | 平成 25 年 6 月  | 日本認知心理学会第 11 回大会, 筑波                             | 目撃直後に事象を意味づけると遅延後の想起にどのような影響を与えるのかを検討した。その結果, 第一に, 見た場面を直後に自発的に意味づけた場合, 1 週間後もより正確に場面を想起できること, 第二に, 年長児は自発的に意味づけた場合, 年中児は意味づけを促した場合には, 時間を経ると意味に焦点化して想起することが示された。                |
| 9. 幼児の自発的な意味づけが 1 週間後の想起に与える影響 (ポスター発表)   | 単独 | 平成 25 年 9 月  | 日本心理学会第 77 回大会, 北海道                              | 5 歳半以前の幼児における事象の意味づけと遅延後の想起との関連について検討した。その結果, 記録直後も遅延後も意味づけを促すことで事象全体を意味づけて想起でき, また意味情報を保持できることが示された。年少の幼児は大人の言葉かけによって意味を抽出し, より正確な情報を保持できることが示され, 大人による指示に関する示唆を得た。             |
| 10. How do children recall visual scenes? : The effects of stories on memory and comprehension of visual scenes. (口頭発表) | 単独 | 平成 25 年      | ANZAPPL Congress 2013, Adelaide, South Australia | 4・5 歳児 124 名を対象に, 子どもはどのように情景を想起するのか, 物語の効果と情景への理解に着目して検討した。その結果, 情景を描写する物語は情景への理解を助け, 提示された情景に対する理解が深まるほど, 想起成績が向上することが示された。  |

|  |    |             |  |   |
|--|----|-------------|--|---|
| 11. 認知発達におけるデジタルとアナログ (3) — 幼児の記憶 — (ラウンドテーブル・口頭発表)  | 共同 | 平成 26 年 3 月 | 日本発達心理学会第 24 回大会, 京都                               | <p>幼児の記憶において, 「デジタル」 「アナログ」という観点からの捉え直しが可能かどうか検討した。</p> <p>共同発表者: 山名裕子・杉村伸一郎・吉野さやか・近藤綾・上原泉・仲真紀子・清水寛之</p> <p>吉野担当部分: 「幼児の記憶に及ぼすアナログとしての物語の効果」を単独発表。</p> <p>幼児による物語の産出について, 幼児の日常的な題材を元に 4 つの場面を取り上げ, 場面内の要素をばらばらに配置した場合の意味づけ方法について検討した知見を提示。幼児の環境への働きかけとその意味づけ方法として, 徐々に物語構造を持ったアナログ的な産出が可能となることを考察した。</p> |
| 13. 記憶と学びの生涯発達から見る発達研究—生涯発達研究における記憶の位置づけを考える— (ラウンドテーブル・口頭発表)  | 共同 | 平成 26 年 3 月 | 日本発達心理学会第 24 回大会, 京都                               | <p>誕生から死までの生涯発達の過程における記憶機能の変化について, 幼児・児童・青年・高齢期のそれぞれの発達段階を取り上げて考察した。</p> <p>共同発表者: 鍋田智広・山本晃輔・富高智成・吉野さやか・豊田弘司・清水寛之</p> <p>吉野担当部分: 「幼児による意味的な関連づけが記憶に与える効果」を単独発表。</p> <p>幼児の知識構造を反映した材料 (絵や物語) が幼児の事象への意味づけに与える影響及び大人の教示による効果についての知見を提示し, 教育場面における子どもの自発的な環境への関わりと大人の促しについて考察した。</p>                        |
| 14. The Developmental Change of Peer Relationship in Elementary School Children: Analysis of Written Composition about "Friends". (ポスター発表) | 単独 | 平成 28 年 7 月 | ICP2016 Yokohama, Japan/ 日本心理学会第 80 回大会, 横浜 (共同開催) | <p>子どもの社会性の発達について, 児童期の仲間関係に着目し, 低学年から高学年まで関係性がどのように変化するかを作文の分析を通して検討した。その結果, 第一に, 友だちに関する概念は, 物理的関係から内面的・互恵的關係, 集団から個に着目した関係へと変化すること, 第二に, 学年とともに, 一人ひとりの特性に着目するようになり, さらに友人との関わりを通して何を求めるかが重要度を増し, 仲間関係に関する視点が多様化することが示された。</p>   |
| その他 (表彰等)  |    | 平成 21 年 6 月 | お茶の水女子大学大学院修学奨学金授与                                 |   |